

寄付御礼

- *五十嵐 長吉 様
- *穴倉 保之 様
- *小柳 優視子 様
- *十倉厚生園家族会 様
- *チャフルキョウエイ富里事業所 様



きよさと HISTORY

今号の特集は、協和厚生園の敷地内にある『ころりん館』です。
この名前を聞いて、ちょっと変わった、でもどこか可愛らしい名前が気になった方も多いのではないのでしょうか。その名前の由来は、自宅(我が家)のように「ころりん」と休める場所に…という思いから『ころりん館』と名付けられたそうです。では、いつ頃建てられたのかという、その歴史は長く協和厚生園開所の翌年(昭和62年)グループホームとしての活用を目的に建てられました。(が、施設敷地内では認められず…)
現在は、ご利用者の地域移行に向けた支援を行う場として、単身での生活訓練や調理実習を行う場として利用されており、『ころりん館』での生活訓練を終えグループホームへ移行された方もたくさんいらっしゃいます。
『ころりん館』は協和厚生園と地域を繋ぐ大切な場所として大きな役割を担っているのです。



編集後記

今年の夏は毎日暑い日が続きました。秋になって少しずつ過ごしやすくなりましたが、外で作業をすると、まだまだ汗ばんでしまいます。
やっとコロナ禍も落ち着き、夏ならではの行事が実現できました。多くの施設で、ご家族の皆様と一緒に、楽しいひと時を過ごし、笑顔が見られたことは、職員にとっても大きな励みとなります。笑顔の写真がたくさんで、嬉しく思います。
夏の行事では、様々な体験をしました。今後も楽しいイベントや充実した活動を提供し、みんなが笑顔いっぱい過ごしてほしいと願います。体調にも気を付けて、楽しんでいきたいですね。
(青空保育園 吉田)

きよさと



7月14日 青空保育園では、夏祭りを楽しみました。

特集 十倉厚生園/デイとくら・輝

- 「リサイクルで始めるSDGsへの取り組み」 2
- ほっとライフ・きよさと「新入居者紹介&グループホームの休日」 3
- 青空保育園「カレーパーティ」 4~5
- 十倉厚生園「文化祭」 6
- デイとくら・輝「4年ぶりに家族と楽しんだ納涼祭」 7
- 日吉厚生園「春・夏行事と余暇支援」 8~9
- 協和厚生園「4年ぶりに開催!夏まつり」 10~11
- ワークわく・きよさと「第8回ワークわくまつり」 12~13
- 九十九荘「夏の行事」/南部地域包括支援センター 14~15
- 寄付御礼・きよさとHISTORY・編集後記 16

清郷会のホームページアドレス
<https://kiyosatokai.or.jp/>



ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。



前号に引き続き、SDGsについてどんな取り組みをしているかを、覗いてみたいと思います。今回は十倉厚生園とデイとくら・輝にスポットを当ててみましょう！SDGs「持続可能な開発目標」の為に、小さな活動をコツコツと続けています。私たちの小さな活動が積み重なり、ひとつしかないこの地球で暮らし続けられる「持続可能な世界」を実現するために目標12（つくる責任・つかう責任）に関する活動をご紹介します。

育晴班

鶏と馬の飼育からつながる取り組み

園芸班 農芸班



育晴班では鶏と馬の飼育をしています。収穫した卵は、ご家族の皆様や職員に販売したり、富里市社会福祉センター内の福祉ショップ「フレンド富里」や富里市役所にて、地域の皆様に販売しています。また、鶏ふんと馬ふんは、植物の成長に必要な窒素、リン酸、カリウムがバランスよく含まれていて、花や野菜を育てる為の有機肥料となるので、園内の花壇や畑にたっぷりと撒いて、土作りの為に再利用しています。

この有機肥料のおかげで、花壇にはマリーゴールドやヒマワリが美しく元気に咲いています。畑では、季節によって色々な野菜を育てています。ご家族の皆様や職員に、園の行事「収穫祭」等により地域の皆様に販売していますが、じゃがいも、さつまいもは利用者の皆様の食事の材料となり、美味しく食べて頂いています。そして、野菜の皮や残ったごはんは、鶏の餌として再利用しています。

デイとくら・輝

牛乳パックを再利用した工芸作品作り

工芸班



デイとくら・輝では、牛乳パックに新聞を詰めて牛乳パック椅子を作成しています。最近では、小さい牛乳パックを利用して正座楽ちん椅子も作成しています。座面は不要になったタオルケット等をクッションに利用し、側面の布も自宅で眠っていた布を回収し作成しているので、100%リサイクル品で出来ています。

工芸班では、ご家族の皆様や職員から頂いた牛乳パックを再利用した工芸品作りに取り組んでいます。牛乳パックのラミネートを剥がし、残った紙を小さくちぎって、水と糊を入れてミキサーで攪拌します。それをハートやツリー等の型に入れてメッセージカードを作っています。メモ紙やメッセージカードとして販売するほか、毛糸を使用したマスコット等の作品にお礼の言葉と共に添えたりしています。



デイとくら・輝では、他にも保冷剤の再利用として、ご家族から頂いた空き瓶に色付けをした保冷剤を入れ、アロマオイルで香り付けをし、多肉植物入りの芳香剤を作っています。

わたし達の活動は小さな活動ですが、小さな活動が積み重なることで、きっと幸せな未来づくりに貢献できていると信じて、これからも持続可能な社会の実現に向けてコツコツと人と地球の幸せの為に頑張っていきたいと思っています。



ほっとライフ・きよさと

新入居者紹介



名前 **小高 結衣 (22歳)**

事業所 **ワークわく・きよさと**

趣味 **TVを観る事・読書・字の練習**

本人から一言

6月から入居しました、ホームの皆と仲良くし、ワークのお仕事頑張ります！

グループホームの休日

合同食事をしたり、お買い物、お出掛けと楽しく過ごしています！



合同食事会



朝日ハウス、ひだまり (流しそうめん)



日吉倉の花火大会



プレミアムアウトレット

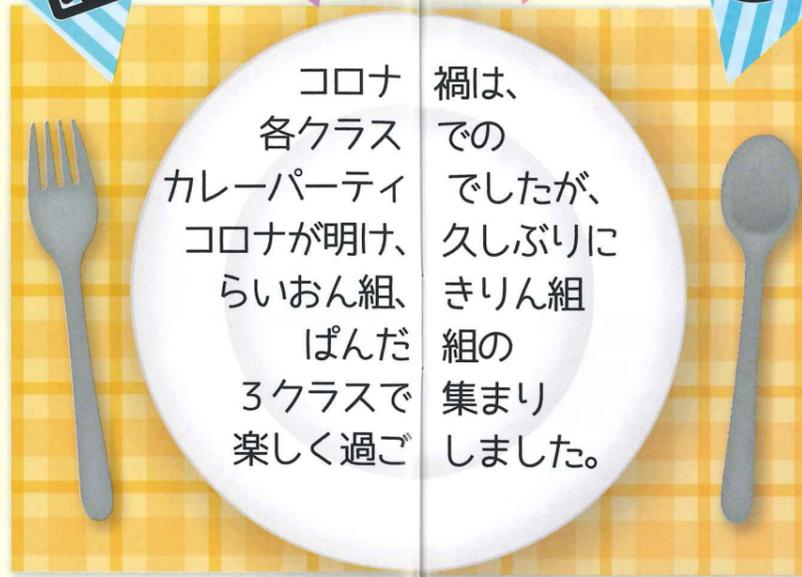


航空科学博物館

♪ ♪ ☺ Hi

青空保育園

食べる前のお楽しみ



コロナ禍は、各クラスでのカレーパーティーでしたが、コロナが明け、らいおん組、ぱんだ組の3クラスで楽しく過ごしました。

カレーパーティー

カレーもぐもぐタイム



夏野菜クイズ！
何問正解できるかな？

野菜が
たっぷり
おいしいね



みんなで
食べると
おいしいね♡



らいおん組さんと一緒に
カレーライスのうた♪



まだまだ
食べるぞ

おかわり！

にこにこ笑顔で
ハイチーズ！



管理栄養士 高野内 恵里



保育園で採れた夏野菜を使って、おいしいカレーを作りました。



文化祭～ジブリの世界～

十倉厚生園では7月11日に文化祭を行いました。今年の文化祭のテーマは『ジブリ』で、各班でオブジェや内装を作り、各コーナーだけではなく、食事などの細かい部分まで十倉の個性を出しつつジブリの世界観を表現しました。そんな十倉のジブリの世界観の一部ではありますがご紹介いたします。

ハウルの動く城コーナー

ここではハウルの動く城に登場するカルシファーを芸芸班が製作したポンポンにフェルトで出来た目と口を木工用ボンドで貼り付けて工作するコーナーでした！作った人によって一つ一つカルシファーの表情が違うので世界に一つだけのカルシファーが出来上がりました！！

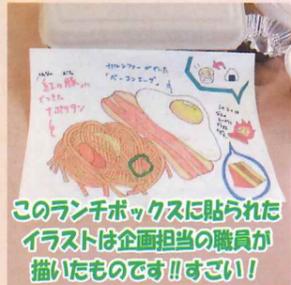


出来上がったものがこちら！



お昼ご飯

今回の文化祭ではお昼ご飯もジブリ仕様になっており、ジブリの作中に登場したご飯、通称『ジブリ飯』がランチボックスとなりました！紅の豚に出てきたナポリタンの上にカルシファーの焼いたベーコンエッグがのっていたり、作品の枠を越えたコラボランチボックスとなっていました！



オブジェ&フォトスポット

今回各ブースに1つそのブースを象徴するオブジェを制作し飾っており、どのオブジェが気に入ったか利用者の皆さんに投票をしてもらい、ランキングを付けました！皆さんはどのオブジェを気に入りましたか？また、今回は各地に様々なジブリ作品のフォトスポットを作り皆で写真を撮って楽しみました！



とくココ

今回の文化祭ではお昼ご飯のランチボックス以外にも沢山の食べ物がありました！その中の一つの「とくココ」を紹介します！「とくココ」は十倉厚生園で採れたジャガイモを使用したコロッケで、利用者の皆さんだけではなく職員からも大好評でした！



4年ぶりに家族と楽しんだ納涼祭

コロナ禍は、行事という行事も色々と制限され、家族や地域の方をお招きする事が出来なかったのですが、やっとお祭りを共に楽しめるようになり、4年ぶりに園庭にて納涼祭を開催する事ができました。今回の納涼祭を盛り上げてくれたのは、スタートしてすぐに看板の上に現れた虹です！プラスしてデイの皆さんと作った看板を彩る花火も、気分を盛り上げてくれました。



月に2～3回行っているカラオケも皆さんの前で披露しました♪



メインボーカル二人とダンサーで盛り上げてくれました



こちらは振り付けしながら熱唱です！



納涼祭に参加頂いたご家族からのコメント

コロナで4年ぶりの納涼会に参加、久々に皆に会えると思ったら、新しい方が多く4年の月日を感じました。18歳から利用して息子も40歳。あつという間でした。納涼祭が始まるまでは、雨の中での準備でご苦労様でした。おかげで雨も止み、虹がかかり、楽しい一時に感謝です。これからも宜しくお願いします。



久しぶりの納涼祭で皆さんが見せてくれた笑顔で職員はまた力を頂けました。ありがとうございます。



日吉厚生園

コロナの位置づけが「5類感染症」へ移行し、各地で様々なイベントが開催され「コロナとの共生」を実感している方も多いのではないのでしょうか。日吉厚生園も久しぶりに園外へ出て、野外炊飯を行いました。月1回行われる行事や余暇支援は、利用者さんが季節を感じ、皆でコミュニケーションを取りながら楽しんで参加できるよう企画されています。今回は春から夏にかけて行われた行事と余暇支援をご紹介します。

野外炊飯 (生活グループ)

5月19日(金)、生活グループは佐倉市にある草笛の丘のキャンプ場で野外炊飯を17名で行いました。メニューは焼きそば、ポテトサラダ、ベーコンエビ、フルーツポンチでした。ジャガイモの皮をピーラーで剥いたり、キャベツを手でちぎったり、下準備から皆で協力して取り組みました。エビとはフランス語で「麦の穂」の意味で、細長い小さく分かれているパンのことをいうのですが、今回は春巻きの皮にチーズとベーコンを巻いて、焼きました。雨が途中、降りましたが、屋根がついた炊事場だった為、濡れずに調理に集中できました。自然を感じながら綺麗な空気の中で食べる料理は格別だったのではないのでしょうか。



野外炊飯 (社会グループ)



社会グループは同じく19日、成田市の坂田ヶ池総合公園に31名で出掛けました。スパゲティナポリタン、ハンバーグ、かき玉スープ、サラダ、フルーツチェを作りました。ひき肉をこねるだけでも、大きいパック4つとなると一苦勞で、皆で交代して玉ねぎを加え混ぜました。途中、火が消えそうになって慌てる場面もありましたが、楽しみながら調理しました。食べる時だけ小雨が降ってしまいましたが、テントの中や大きい木の下で、自分の作った料理を堪能しました。



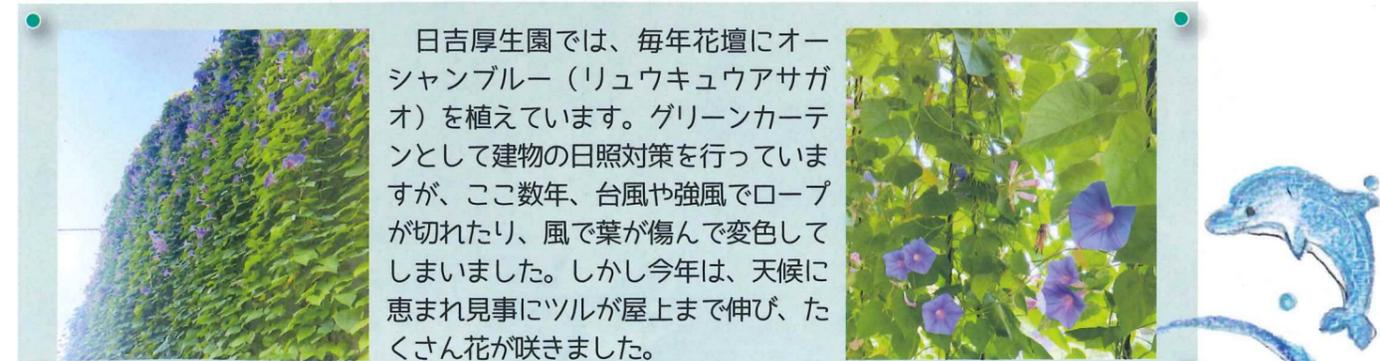
4月 余暇支援

4月29日(土)の余暇支援は、午前に手形アートを行いました。ペンでなぞった手形の上に透明の台紙を置き、フレークシールを貼りました。華奢でかわいい手、大きくて力強い手、それぞれ個性ある作品に仕上がりました。午後はフルーツサンドを作りました。パンの上にイチゴや桃、キウイなどを生クリームと一緒にのせました。切った断面を見ると、カラフルな果物が並んでおり、かわいい“萌え断”のフルーツサンドが出来上がりました。見た目が華やかなだけでなく、食べても甘酸っぱく美味しくて、皆さん大満足でした。



7月 余暇支援

7月22日(土)は、朝から強い日差しで、水遊びにはうってつけの日でした。水鉄砲で優しく足を濡らす人、水風船を空に向け投げける人、はたまたプールに服のまま入って涼を取る人など利用者さんそれぞれ自分のやり方で、夏の一日を楽しんでいました。解放感あふれる笑顔が印象的でした。午後はダンス、映画、スヌーズレンのグループに分かれました。スヌーズレンとはオランダの施設で生まれ発展してきたもので、リラックスした環境を整備し、様々な感覚刺激の提供を工夫します。この日は部屋を暗くして、光るおもちゃや軟らかい素材の触る物など用意し、更に壁と天井に絵を浮かび上がらせるプラネタリウムのような装置も使いました。ハンモックに揺られたり、風船で遊んだり、早くから眠ってしまう人もいて、くつろいでいました。



4年ぶりの 協和・日吉 夏まつり 祭

コロナ禍の大変な時期を乗り越え、8月11日に4年ぶりの「協和・日吉夏まつり」が開催されました。

外部の方をお招きして行事を行うことも4年ぶりとなり、企画担当職員を中心に、職員も利用者さんも総出で準備を進めてきました。当日は近隣の商店や福祉施設の皆様の屋台販売が立ち並び、ステージは各団体の方の発表で盛り上がりました。また、たくさんのボランティアの協力で、各ブースや会場が賑やかになり、利用者さんも夏まつりを満喫しました。以前実習に来られた学生さんたちもボランティアとして参加しました。人と人のご縁は大切にしなければと改めて思う夏まつりとなりました。



初めての夏祭り!
とても
楽しかったです!



祭りを彩る装飾を
花紙で作っています。
当日もテントの
設営など急ピッチで
行いました。



ボランティアさんと
一緒に回りました。

久しぶりに家族と楽しい時間を過ごしました。



自治会役員もお祭りが盛り上がる様に
ブースでのお仕事を頑張りました。

暑い中、ステージ上で
パフォーマンスをして
会場を盛り上げてくれた
各団体の皆様の笑顔が
とても印象的でした。



『フラ・ハーロー・ハアロハハワイ』と『ハーロー・フラ・オブカヒキナ』の皆さまです。



以前は設置していなかったゴミステーション。
会場に出たゴミをここで分別していきます。
ペットボトルのキャップは集めればワクチンに!!



『富里ひずめ太鼓』の皆さまです。

5月27日(土)

★ 食の祭典 ★ 第8回 ★

今年はコロナ禍前同様に地域の皆さまにもご参加いただき、例年の規模通り4年ぶりにワークわくまつりを開催することが出来ました!!「今年はワークまつり出来るかな...?」と利用者さんからの心配の声もありましたが...無事に開催が決まり、ワークわく・きよさと一同この日を楽しみに頑張ってきました。



ステージ上で会場を盛り上げてくれたのは...

大道芸のかりゆしパフォーマーそんりゅうさん!!

ハッピースターズの皆さん☆



風船を使ったバルーンアートやジャグリングで大技を披露! 子供から大人まで楽しめる会場を巻き込んだパフォーマンスに大盛り上がりでした♪

成田・富里・多古町エリアで活躍されているキッズダンスのハッピースターズ! かわいく...かっこよく...元気いっぱい迫力あるダンスでお客さんもノリノリに★

会場内では作品販売・ゲーム・バザーなど他にもたくさんのお祭り屋台が並びました。

スーパーボールすくい

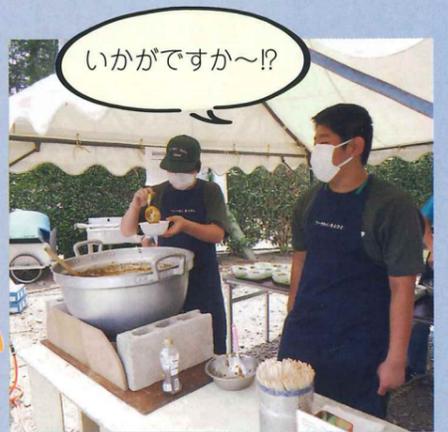
ヨーヨー釣り



利用者さんのご家族の皆さまにも調理や販売にご協力していただき、初めて挑戦したジャージャー麺も美味しいと好評でスイカを星形にくり抜いたフルーツポンチもかわいく仕上がりました!



★ ワークわくまつり

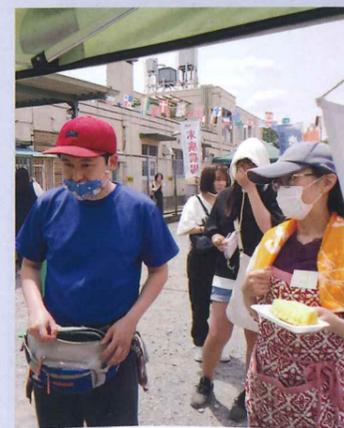


毎日熱心に働いているワークわく・きよさとの皆さん!

お祭りでは元気に販売接客をしている姿、ワクワクしながらお買い物をする姿、笑顔でお祭りを楽しんでいる様子が見られました。日々のお仕事の疲れも楽しさで吹き飛ばすことが出来たのではないのでしょうか??(^^)/

ワークを卒業し就職した方も遊びに来てくれました!

フルーツポンチは彩りがきれいになるように色合いを意識して作りました☆



お天気にも恵まれ、多くの方々にご来場いただきありがとうございました。またご協力いただいた皆さまのおかげで賑やかな一日となり大盛況で終わることが出来たこと感謝しています。



今まで行事の開催は厳しい状況でしたが、少しずつ開催することが出来る環境になってきており、以前のような賑やかな元の日常に戻りつつあることを実感しています。行事が出来ることでお仕事へのモチベーションもアップしますね!!「また出来るといいね!」と皆さん来年も楽しみにしています。

九十九荘

今回は、6月から9月に九十九荘にて行われた行事を紹介させていただきます。

今年もあいにくの猛暑でしたが、
利用者の皆さんは暑さに負けることなく元気に参加されていました。

法人芸能祭

6月には法人全体で行われる芸能祭に参加しました。

午前の部は各施設が作成したビデオ鑑賞し、午後には切り絵師の方がいらっしやいました。コロナ禍に入ってからのお出は久しぶりだったので、皆さんのいきいきとした様子を見ることができました。



お昼は皆でお弁当を食べました！



なんと、切り絵で似顔絵まで作って頂きました！！

スイカロードレース

同じく6月の18日には、富里市にて行われるスイカロードレースを入居者の皆さんと応援しました！



施設の前の道路をランナーの皆さんが走ります



ランナーとして参加する職員も！



暑い中、皆で頑張って応援しました

富里市南部地域包括支援センター

富里市南部地域包括支援センターでは、筋トレルームを開放しています。運動不足解消に筋トレルームを利用してみたいはいかがでしょうか？

また、月・水・金にはそれぞれ地域の方が体操や筋力アップ教室を開催しております。ご興味のある方は、富里市南部地域包括支援センターまでご連絡ください。個人での利用もできます。なお、使用後は掃除をお願いしておりますのでよろしくお願いいたします。



納涼祭

8月には施設内にて納涼祭を行いました。以前はご家族や地域の方に向け一般解放をし開催していましたが、コロナ禍以降は施設内の交流ホームのみを使用し小規模にて開催しています。



皆で浴衣や法被に着替えて参加しました



職員のウクレレ演奏！皆さん聴き入ってます…



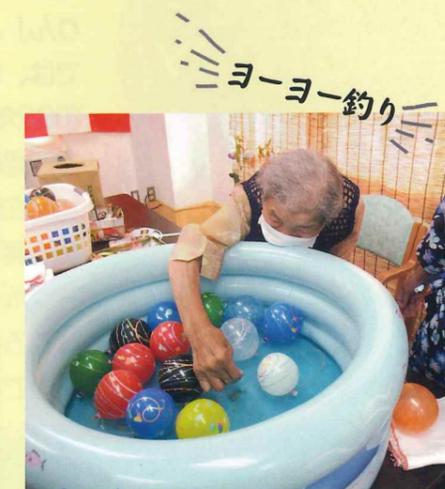
たこ焼きやお寿司など沢山食べました！

デイサービス 納涼祭

8月5日(土)に納涼祭が行われました。コロナ感染予防のため、デイサービスはいつも過ごしているデイルームにて開催です。バイキング形式の食事に釣りや射的、ウクレレ歌謡ショーと楽しいひと時を過ごすことができました。



射的



ヨーヨー釣り



ウクレレ歌謡ショーの始まりです



あの歌もこの歌も…思い出の曲ばかりで心が弾みます(*^^*)



今日の為に、職員みんなでお祭り仕様に模様替えしました



笑顔溢れる一日でした！！

